

分科会6: 量子現象等の活用による未踏領域の創出

[12/18] 12:00-14:30

主査: 荒川 泰彦 (東京大学 ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構 特任教授)

副主査: 北川 勝浩 (大阪大学 大学院基礎工学研究科 教授)

12:00-12:30 (東京会場録画映像の放映)

開会挨拶、ムーンショット型研究開発制度の概要 プレナリーセッションの結果概要

12:30-13:25

12:30-12:40 分科会メンバー紹介及び議論すべき論点の共有	荒川 泰彦 (東京大学)
12:40-12:55 話題提供 1 ハードウェア関連の研究動向	中村 泰信 東京大学 先端科学技術研究センター 教授
12:55-13:10 話題提供 2 量子ソフトウェア関連の研究動向	藤井 啓祐 大阪大学 大学院基礎工学研究科 教授
13:10-13:25 話題提供 3 量子ネットワーク関連の研究動向	小坂 英男 横浜国立大学 大学院工学研究院 教授

13:25-14:30

パネル ディスカッション	13:25-13:30 米国の量子科学技術 政策	Jacob M. Taylor, Assistant Director for Quantum Information Science, White House Office of Science and Technology Policy
	13:30-13:35 欧州の量子科学技術 政策及び研究動向	Tommaso Calarco, Director, Institute of Quantum Control, Peter Grünberg Institute, Forschungszentrum Jülich
	13:35-13:40 米国の量子研究動向	Alexander D. Cronin, Senior Quantum Coodinator, White House Office of Science and Technology Policy
	13:40-14:20 ディスカッション	北川 勝浩（モデレーター） 大阪大学
		荒川 泰彦（東京大学）
		石内 秀美 キオクシア株式会社 技術改革推進部部長付
		井元 信之 大阪大学 先導的学際研究機構 特任教授
		西野 哲朗 電気通信大学 大学院情報理工学研究科 教授
14:20-14:30 本分科会のまとめ	荒川 泰彦（東京大学）	